

平成22年11月13日講道館にて、第59回全国青年大会柔道競技が全国から16の県代表が集まって、行われました。東京都代表として恥ずかしくない戦いを、と緊張したのか先鋒秋山直太、四将朝倉克哉が敗れて、いきなりのピンチを中堅和久慎治が流れを変えて副将和田雅史が同点に持ち込み、大将朝倉拓哉が一本勝ちし愛知県の岩倉柔道会に3-2の僅差勝ち、全国は甘くないと気を引き締めました。続く2回戦 宮城県の柔友会戦は4-0緊張もほぐれて、普段どおりの動きが出ました。準決勝の福島県相馬柔道会戦は、副将戦まで2-2の接戦で大将の朝倉拓哉が勝ち決勝戦に駒を進めました。決勝戦、茨城県のチームひたちなかに、2-2の同点から大将朝倉が勝負を決めて、団体優勝する事ができました。午後からの個人戦は、90キロ以下級の和久慎治が一回戦から安定した試合運びで優勝しました。初めて出場した全国大会で優勝できました。ありがとうございました。(荒川区柔道会 監督 浅賀大輝)

◆第59回全国青年大会柔道団体戦

○日時 平成22年11月13日(土)

○場所 講道館

○結果 優勝

○戦績

・1回戦

東京都荒川区柔道会(東京都) 3 - 2 岩倉柔道会(愛知県)

・2回戦

東京都荒川区柔道会(東京都) 4 - 0 柔友会(宮城県)

・準決勝

東京都荒川区柔道会(東京都) 3 - 2 相馬柔道会(福島県)

・決勝戦

東京都荒川区柔道会(東京都) 3 - 2 チームひたちなか(茨城県)

東京都荒川区柔道会(東京都)

監督 浅賀 大輝

先鋒 秋山 直太

四将 朝倉 克哉

中堅 和久 慎治

副将 和田 雅史

大将 朝倉 拓哉



